

早稲田大学審査学位論文
博士（スポーツ科学）
概要書

癒しと健康のグローバル化：
タイ・マッサージの医療観光化に着目して

The Globalization of Health and Relaxation:
An Analysis on the Development of Thai Massage in Health
Tourism

2013年1月
早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科

小木曾 航平
KOGISO, Kohei

研究指導教員： 寒川 恒夫 教授

1. 研究目的

本研究の目的はタイの伝統的な治療術と考えられているタイ・マッサージが、グローバルな健康文化へ生成していく過程を医療観光化という文脈から明らかにしていくことである。

これまで、タイ・マッサージを扱った多くの先行研究は、医療としてのタイ・マッサージを対象にして来た。そうした研究は、タイ・マッサージをタイという〈地域に根ざした文化〉と考える立場に立って研究を行ってきた。一方、現在の文化人類学では〈地域を超える文化〉に出発点を置く研究がある。そのような研究の対象として代表的なのが観光と文化である。

現在、タイ・マッサージは医療としての枠組みを超えて、タイにおける代表的な観光文化となっている。そのような現状を踏まえれば、タイ・マッサージを〈地域に根差した文化〉として研究することだけでは不十分であり、〈地位を超える文化〉として研究する必要があると考えられる。

そこで、本研究は従来のタイ・マッサージ研究が行ってきた伝統医学知識の体系化と制度化に改めて検討を加えつつ、観光におけるタイ・マッサージとそれを取り巻く諸々の現象を積極的に取り上げることで、冒頭に掲げた研究目的を明らかにしていった。尚、研究手法には文献研究とフィールドワークを用いた。

2. 考察と結果

第 II 章では、医療観光化の前提となるタイの観光について検討を加えた。タイは 1960 年代以降、政府主導の観光政策を敷いてきた。国家戦略としての観光振興は単に経済開発を意図しただけでなく、国家の伝統や文化を諸外国に示すことをも狙っていた。政府による観光文化の開発と観光イメージの操作は〈タイらしさ〉を国内外に定着させる国家的ブランド戦略と考えられた。しかしながら、1980 年頃まで〈タイらしさ〉を表象する文化にタイ・マッサージは入っていなかったことも判明した。1980 年以前はタイ・マッサージではなく、観光地で行われる性的マッサージが観光資源であった。政府はタイ観光の代名詞のように語られるようになったセックス・ツーリズムとそれに伴うエロティックなイメージを払拭するため、1990 年代以降、目的地の女性化に乗り出していった。それが具体的な形となったのが医療観光化の顕著な表れであるヘルス・ツーリズムとタイ式スパの登場であると考えられた。

第 III 章では、タイ・マッサージが医療化される過程において、その知識がいかに体系化・制度化されたかを明らかにした。タイ政府のタイ式医療生成という試みの中でタイ・マッサージの知識は 2 つの領野に区別されて体系化・制度化されていた。1 つは歴史を編成する知識で

あり、もう1つは実践に必要な知識である。前者はタイ・マッサージの独自性あるいは文化的正統性と権威を構築するためであり、後者はタイ・マッサージの医療としての正当性を構築するためと考えられた。タイ式医療生成は国家がタイ・マッサージに〈タイらしさ〉という文化的正当性と医療としての正当性を与えたという意味で重要であると考えられた。

第IV章では、タイ・マッサージの観光化を西洋人とタイ人の実践家双方に着目して論じた。観光という文脈において、西洋人の実践家たちはタイ・マッサージをインドのヨーガや中国の太極拳と同じ〈東洋的セラピー〉の系譜に位置づけた。これに対して、タイ人のある実践家はさらにその系譜をずらし、タイ・マッサージを世界中に存在するマッサージの1つの変形として位置づけ直した。そのような過程を経て、タイ・マッサージはグローバルな文化となっていたと考えられた。

第V章では、タイ・マッサージの医療観光化の具体的な事例として、ヘルス・ツーリズムの発展とそこでのタイ・マッサージの役割を明らかにした。タイのヘルス・ツーリズムはスパのグローバリゼーションを背景としながら、タイ・マッサージを中核的セラピーにすることで〈タイ式スパ〉という独自の様式を創り上げた。伝統医療や補完代替医療を組み込んで発展する今日のスパにおいて、医療化したタイ・マッサージは有用な資源とみなされるようになっていく。また、観光化によって東洋的セラピーと見なされるようになっていたタイ・マッサージはタイ式スパを西洋式スパから差異化させる要素にもなっている。これらに加えて観光で創られた〈ホスピタリティ〉のイメージが合わさって、タイ・マッサージとタイ式スパはグローバル・スパ産業の中で今日のような活況を生み出していると考えられた。

以上のごとく、タイ・マッサージの医療観光化はタイ政府による「国民文化」化と、観光という文脈で西洋人とタイ人が為したグローバル化を原因として生じたと結論される。タイ・マッサージを中核とするヘルス・ツーリズムの活況はそうした相反すると見なされがちな2つの力学の均衡の上に成立していると言えるだろう。